

平成 28 年度森林・環境基金事業 主な事業の進捗

○環境保全林整備事業

- ・当初計画では、過去 2 年間の実績を踏まえ、2,500ha の事業量を想定していたが、要望調査を実施したところ、当初予算額を大きく上回る要望があったため、H 2 7 年度基金残額を活用し、9 月補正予算で 1 億 3 千 3 4 5 万 5 千円を増額して対応する予定。

区 分		当初計画	補正後 (案)
事業量	森林・環境税事業	726.00ha	1,376.00ha
	国事業活用	1,690.00	1,690.00
	計	2,500.00	3,066.00
事業費 (うち、森林・環境税)		486,723 千円 (317,779 千円)	620,178 千円 (451,234 千円)

○里山林整備事業

- ・大雪による人家やライフラインへの倒木被害の恐れが高い里山林の整備など、市町村や森林組合等から強い要望があったため、H 2 7 年度基金残金を活用し、9 月補正予算で 4 千 2 百万円を増額して、緊急性の高い箇所等に対応する予定。

区 分		当初計画	補正後 (案)
事業量	里山林整備面積	470.63ha	561.75ha
	施設改修	6 箇所	7 箇所
事業費		201,574 千円	243,574 千円

○森と木と水の環境教育推進事業

- ・木育拠点整備のための企画・設計を実施しているが、地盤調査の必要が生じたため、H 2 7 年度基金残金を活用し、9 月補正予算で 3 百 4 2 万 7 千円を増額して対応する予定。

区 分		当初計画	補正後 (案)
森と木と水の環境教育推進事業費		45,500 千円	48,927 千円
	うち木育拠点整備分	29,600 千円	33,027 千円

○野生生物保護管理事業（ニホンジカ捕獲推進）

- ・ニホンジカ捕獲事業について、当初予定を上回る要望があった。ニホンジカの個体数調整を広域的に進めて、獣害防止の効果を高めるため、捕獲オリ及び処理設備購入事業や市町村職員の育成事業で生じた差金、約79万1千円を活用して対応する予定。

（単位：円）

事業名	当初計画額	要望額 (採択予定含む)	差額	増減額
野生生物保護管理事業（ニホンジカ捕獲）	87,700,000	88,491,253	▲791,253	791,253
野生生物保護管理事業（捕獲オリ・処理設備）	1,800,000	1,036,547	763,453	▲763,453
野生生物保護管理事業（市町村職員の育成）	3,500,000	3,472,200	27,800	▲27,800

○環境保全モデル林整備事業

・平成26年度選定モデル林（2箇所）

整備が完了。今後、プレーヤーを中心に市民の利活用を進める。

土岐市 「土岐高山城跡の森」	6月に整備が完了。7月17日にオープニング式典を開催し、活用開始予定
中津川市 「加子母福崎の森」	H27年度末までに整備が完了し、4月21日から活用開始。同日のオープニングイベントでは、地元小学生・住民約100名の参加の下、木材搬出設備（じゃんじゃん）の実演、加子母の林業の歴史学習など、東濃ひのきの里に相応しいプログラムが展開された。

・平成27年度選定モデル林（1箇所）

名称	面積	コンセプト	整備内容
揖斐川町 「揖斐川町城台山」	38.12ha	ふるさとの歴史を学び 多世代交流や体験、遊びを通じて子どもたちが育つ里山“揖斐川町城台山”	遊歩道の整備、竹林等の森林整備、里山体験や環境学習に活用するための施設整備。